

# 令和5年度の国民健康保険税率は”据え置き”

—国見町の国保は、皆さんが納める国保税で支えられています—

国民健康保険は、他の医療保険制度（被用者保険、後期高齢者医療制度）に加入されていないすべての住民の方を対象とした医療保険制度で、加入している方が病気やケガをした時に安心して医療を受けられるように、国民健康保険税としてお金を出し合い、みんなでお互いに助け合おうという制度です。

ほけん課国保係 ☎ 585-2785

## 令和5年度国民健康保険税率

税率は、県へ支払う納付金や保健事業など必要な歳出見込額から、国・県の交付金などの歳入見込額を差し引いた不足分を「集める国保税の総額」とし、これを所得や世帯の人数に応じて割り振ることで決定します。その結果、令和5年度は税率を上げなくても必要な額の収納が見込まれるため、国保税率を変更せず「据え置き」としました。

区分	所得割率	均等割額	平等割額	限度額（※4）
医療分（※1）	6.36%	25,000円	20,400円	650,000円
支援金分（※2）	2.46%	9,700円	6,600円	220,000円
介護分（※3）	2.41%	11,600円	5,900円	170,000円

- ※1 医療給付費（医療に係る費用の7割相当分）に充てるもので、すべての加入者が負担します。
- ※2 後期高齢者（75歳以上の人）の医療費の一部を支援するもので、すべての加入者が負担します。
- ※3 介護保険に要する費用に充てるもので、40歳以上64歳までの加入者（介護保険の第2号被保険者）のみが負担します。
- ※4 税額がこの金額を超える場合は、超えた金額については切り捨てられます。

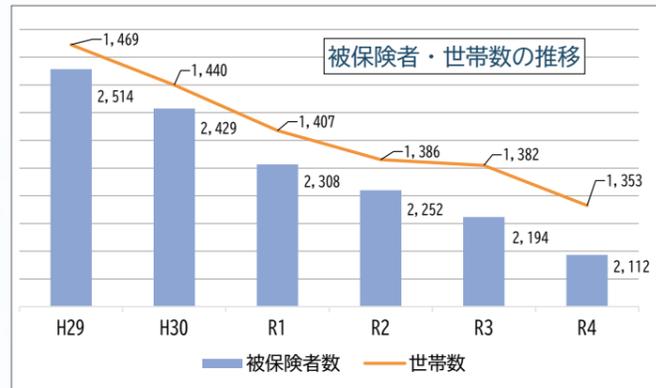
## 課税限度額の引き上げ

令和5年度から、「支援金分」の課税限度額を国の法令改正にあわせて引き上げました。

区分	令和5年度	令和4年度	増減額
支援金分	220,000円	200,000円	+ 20,000円

## 国見町の国保の現状と今後

国保被保険者数や加入世帯数は、人口の減少や後期高齢者医療への移行により減少の一途をたどっています。医療費を見ると令和4年度は6億6千万円で前年度と横ばいですが、被保険者数が減っているため、一人あたりの医療費は緩やかに増加しています。また、国保被保険者の中でも65歳から74歳の前期高齢者が全体の約60%を占め、2025年には「団塊の世代」すべての方々が後期高齢者医療に移行することから、今後ますます「国保の支え手」が減り、今後の国保税率に大きく影響していくと見込まれます。さらに、令和5年度から新型コロナウイルス感染症が5類相当に移行し、検査・治療等に医療保険が適用されるため、医療費は増加していくと見込まれます。



いつまでも元気にイキイキと健康でいられることは、医療費の削減につながります。毎年1回は、特定健康審査やがん検診を受診し、病気を予防しましょう！



定期点検に先立ち行われた観閲式では、藤田商店街に整列した消防団員を前に、統監の引地真町長が車上から観閲しました。  
会場を県北中学校校庭に移して行われた定期点検では、今年度の各種表彰が行われた後、通常点検、機械器具点検、小隊訓練、ポンプ操法などを実施。団員一人ひとりが正確かつ機敏な動きで日頃の訓練の成果を披露しました。  
閉会式では佐藤博之団長が「より一層の予防消防を図るとともに、団員が一致団結して災害防止に努めていきます」とあいさつ。団員は地域防災への誓いを新たにしました。



### 定期点検表彰等受賞者 (敬称略)

- 【叙勲】  
▼瑞宝単光章 佐藤誠、高橋昭一
- 【消防功労者消防長官表彰】  
▼永年勤続功労賞 渡辺勝弘
- 【福島県消防表彰】  
▼精勤章 松浦祐一 ▼永年勤続章 井砂秀明、高橋靖樹、国分政勝、野村裕一
- 【日本消防協会定例表彰】  
▼精勤章 松浦祐一
- 【福島県消防協会定例表彰】  
▼功績章 井砂秀明 ▼精勤章 佐藤俊弘、国分政勝、浅野正宏 ▼退職団員感謝状 渡辺勝弘、佐藤善浩、吾妻慶一、村上智義
- 【消防協会伊達支部定例表彰】  
▼功績章 佐藤俊弘、齋藤嘉弘 ▼精勤章 松浦司、松浦勇治、後藤喜勝、吉田吉彦、遠藤正彦、古山和也、菅野宏昭
- 【国見町消防団長表彰】  
▼退職団員感謝状 (勤続15年以上) 渡辺勝弘、後藤正則、菊池



▲感謝状を受け取る渡辺勝弘さん

- ▼優良消防団員 (勤続10年以上) 後藤喜勝、赤坂和則、村上晋一、大和田健智、鈴木穰、高橋博、桜澤英生、榊枝大
- 美喜雄、佐藤康史、佐藤善浩、吾妻慶一、村上智義、吉田和正、鈴木栄一、古内宣則、高橋正樹、高野朋弘